

2016年度 科学教育研究協議会 関東甲信越ブロック集会 教師も子どもも楽しくわかる理科授業 !

子どもの科学的認識を高め、楽しくわかる理科の授業をどう展開したらよいか、理科教育の本質に迫るヒントがたくさん学べる集会です。

理科教育に興味関心のある学生・先生方、実験や観察、教材について知りたい学生・先生方、理科の授業や教育実習で困っている学生・先生方、ぜひご参加ください。

- **会場** 新潟市秋葉区 新津地域学園（新潟市秋葉区新津東町2-5-6）
車での場合 磐越道・新津インターチェンジから 2 分 無料駐車場あり
バスの場合 新津駅東口発京ヶ瀬営業所行きバスに乗車し新津工業高校高前下車し
徒歩 3 分（新津駅発車時刻は11:00と11:40）
徒歩の場合 新津駅東口から約 25 分

● **日時** 11月26日（土） 11：30～15：50

● **参加費** 500円（学生は無料）

● **日程**

10：00 開場

11：00 受付

11：30～12：50

授業づくり講座①

13：00～14：20

授業づくり講座②

14：30～15：50

実験・観察紹介

16：10～16：40

関東ブロック打合せ

● **主催** 科学教育研究協議会 新潟支部



科学教育研究協議会(略称 科教協)とは…

理科教育に関心を持った小学校から中学、高校、大学までの教師や、研究者、学生、一般市民も参加している研究団体です。

設立は1954年で、全国各地に支部やブロックがあります。自然科学が楽しくわかる理科授業の創造を目指し、毎年夏には全国大会を開き、実践研究の交流をしています。また、各地で支部、ブロックごとに大会や学習会を開催しています。

月刊誌「理科教室」（本の泉社）を編集しています。

<問い合わせ>

科教協新潟支部事務局長 和澄 利男

新潟市秋葉区山谷町 3-2-9

E-mail : CXE06432 @ nifty.ne.jp

携 帯 : 090-8614-1698

科教協HP (<http://kakyokyo.main.jp>) には、科教協の活動の様子、月刊誌『理科教室』の内容紹介等が掲載されています。

ぜひ、ご覧ください。

授 業 づ く り 講 座 ①	高鷹美恵子 (東京)	じしゃくでたんけん ～てつさがし～ (小1)	物にはたらきかける学習の一環として、1年生で磁石を使って鉄でできているものさがしに取り組んだ実践記録を紹介します。
	合馬 和章 (埼玉)	三態変化 (小4)	三態変化の学習について、子ども達にどこまで教えればいいのか、教材研究はどこまですべきか、などのプランを紹介します。
	神部 修 (千葉)	溶解度の実験を私は こう実践している (中1)	教科書の実験では「溶解度曲線を導き、飽和水溶液の意味を深く認識して行く」ことが難しい。溶解度をより理解しやすい実験を紹介します。
	桑川 祥一 (栃木)	物質と原子 (中2)	実験をたくさんやらせたい・見せたい、意見をたくさん出させたい、ノートもしっかりとって欲しい、何より原子を理解して欲しい。そう考えて取り組んだ授業を紹介します。
授 業 づ く り 講 座 ②	箕輪 秀樹 (栃木)	チョウを育てよう (小3)	初めて理科を学ぶ3年生に理科のおもしろさを体験させ、科学的なものの見方・考え方を身に付けさせるため、モンシロチョウの飼育と観察を通して行った実践を紹介します。
	中山 雅彦 (栃木)	地層の学習の教材について～地域教材の活用と模擬実験の工夫 (小6)	地層観察の事前準備を、市のジオパーク構想協議会の協力を得て、どのように進めたか。また、ペットボトルによる堆積模擬実験等の工夫についても、実際に行い紹介します。
	佐藤 利夫 (千葉)	放射線に関する『研究授業』 (中3)	福島第一原発の事故後、放射線の人体への影響について知ることは、命に関わる学びである。3時間分の授業を提案し、授業後の生徒の感想も紹介します。
	小林 昭三 (新潟)	ICTを活用したアクティブ・ラーニング	力・位置・速度・加速度・温度・圧力・電圧・電流等の各センサーで、実験結果の予測値を無線接続したモバイルPCにグラフ表示して即座に検証する授業を紹介します。

実 験 観 察 紹 介

いろんなリードスイッチモーターの紹介
 大型フレネルレンズで光の実験
 200円でよく聞こえるステレオヘッドフォン
 「フレミングの左手の法則を超簡単に」
 同体積の銅とアルミニウムの塊
 各種無線センサー活用によるアクティブラーニング型の実験紹介、など

ひもでつくる DNA モデル
 「光の実験」で使う「眼球模型」
 小学校低学年での科学工作の紹介
 空気の質量測定用ボンベ
 200℃の水蒸気を作る銅パイプ